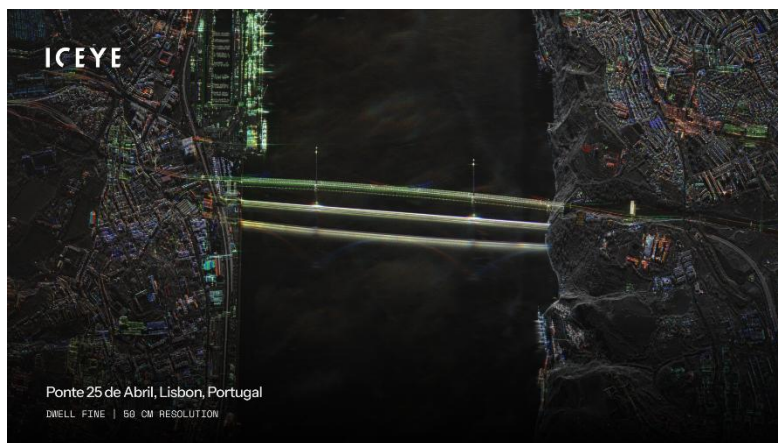


世界最大級の小型SAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援する「ICEYE」

新たにポルトガル法人「ICEYE Portugal」を設立

首都リスボンに技術開発センターを設立し、主権的宇宙インテリジェンス強化を目指す

世界最大級の小型SAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援する「ICEYE」（アイサイ）は、ポルトガル法人「ICEYE Portugal」の設立、並びに首都リスボンにて技術開発センターを設立しました。また、同法人にルイ・コスタが代表取締役社長として就任したことを発表いたします。



新たなポルトガル法人の設立により、同国空軍との2年間のパートナーシップに基づき、現地の産業基盤の強化とR&D投資をさらに推進してまいります。主要な大学や研究機関との共同プログラムをはじめとする産学連携を通じて、宇宙産業における独自の技術力強化とエコシステムの発展に貢献します。また、新設された技術開発センターでは、ソフトウェア、システムインテグレーション、AIなどの研究開発を推進し、現地の優秀な人材を積極的に採用することで、包括的なインテリジェンス機能の構築を目指します。さらに、CTI Aeroespacial社およびポルトガル空軍との連携のもと、今後は独自の人工衛星のAIT（組立・統合・試験）施設の設立を計画しており、長期的な協力体制の確立を目指していきます。

欧州において主権宇宙インテリジェンスの需要が安全保障の観点から急速に高まる中、ICEYEは今回の事業拡大により、ポルトガルにおける防衛・監視能力の拡張を支援します。ICEYEはポルトガルにこれまで合計4基の衛星を納入しており、そのうち2基はすでに軌道上で運用され、大西洋の領海および排他的経済水域（EEZ）を監視する高速コンステレーションの構築に向けて規模を拡大しています。ICEYEは、エンド・ツー・エンドの主権的インテリジェンスシステムを提供する欧州7カ国のひとつであるポルトガルへの支援を通じて、欧州全体のレジリエンス強化へ貢献します。

今回、ポルトガル法人の代表取締役社長に就任したルイ・コスタは、ディープテック分野における豊富な実績を持ち、前職ではコネクテッドカーおよび自動運転車向けネットワークソフトウェア企業であるVeniam社の最高技術責任者（CTO）として、国際的なテクノロジー企業のスケールアップやグローバル展開、AIイノベーションを牽引してきました。

この事業拡大の一環として、ICEYEは防衛だけでなく、独自の自然災害におけるソリューションをポルトガルの銀行や保険会社、民間防災機関へ提供開始するなど、防災としても貢献をめざします。ICEYEはこれまで、2025年に世界で390件以上の自然災害を分析し、発生から数時間以内に高精度な被害データを提供した実績を持ちます。2026年1月と2月にポルトガルおよびスペインを襲った5つの大西洋嵐の際には、ICEYEの衛星が約4,657 km²に及ぶ浸水エリアをカバーする約630枚の画像を撮影してきました。ICEYEのSAR衛星によって、天候や昼夜を問わず、当局や保険会社、インフラ企業に対しほぼリアルタイムでのソリューション提供を目指します。

ICEYE 共同創業者 兼 CEO ラファル・モドジェフスキのコメント

「ポルトガルは、宇宙開発の自国化において欧州をリードする存在です。これまでポルトガル空軍と共に積み重ねてきた実績は、信頼性の高いエンド・ツー・エンドのSAR衛星のインテリジェンスが極めて大きな価値を持つことを証明しています。このたびリスボンに新拠点を設立し、衛星製造、AI分析、そして当社の強みである自然災害ソリューションを集約する運びとなりました。現地の優れた人材やパートナー企業の皆様と協働することで、ポルトガル国内に留まらず、欧州全体の宇宙産業能力の底上げに貢献してまいります。また、高い技術的知見とグローバルな経験を併せ持つルイ・コスタ氏をリーダーとして迎えられたことを、大変心強く、嬉しく思います。」

ポルトガル法人「ICEYE Portugal」代表取締役社長 ルイ・コスタのコメント

「欧州が自立した宇宙能力を確保していく上で、ポルトガルは地理的な利点、豊かな人材、そして飽くなき野心を兼ね備えた極めて重要な存在です。新たに始動するポルトガル法人「ICEYE Portugal」は、現地の学術機関や研究機関、産業界、そして政府の皆様との協働を通じて、次世代の宇宙インテリジェンスを構築してまいります。私たちは、ポルトガルから世界に向けて社会の基盤となる重要技術を生み出し、長期にわたって貢献し続けることをここに宣言します。」

駐ポルトガル フィンランド大使 クリスチャン・リンドホルム氏のコメント

「ポルトガルにおけるICEYEの体制強化と新たな開発拠点の開設は、フィンランド・ポルトガル両国の二国間関係における新たなマイルストーンとなります。これは、フィンランドのNATO加盟をはじめ、欧州の安全保障とレジリエンスの強化という両国共通の決意がもたらした、防衛およびデュアルユース分野における協力深化の具体的な成果にほかなりません。最先端の宇宙技術開発を推進することは、両国が誇る卓越した技術力をさらに高めるだけでなく、欧州全体のイノベーションを加速させ、防衛能力を底上げする上で極めて重要な意義を持っています。」

ICEYE

2026年7月10日
ICEYE Japan株式会社

ICEYEについて

ICEYE（アイサイ）は、フィンランドに本社を置く、小型合成開口レーダー（SAR）衛星のリーディングカンパニーです。世界最大級の合成開口レーダー（SAR）衛星コンステレーションを所有するICEYEは、客観的でほぼリアルタイムの洞察を提供し、昼夜を問わず、また厳しい環境条件下でも行動可能なデータへの無比のアクセスを確保します。

世界において政府や商業産業の信頼できるパートナーとして、ICEYEは防衛・情報、保険、自然災害対応・復興、セキュリティ、海事モニタリング、金融などの分野でインテリジェンスを提供し、コミュニティのレジリエンス（回復力）や持続可能な開発に貢献する意思決定を支援しています。日本法人の他、ICEYEはフィンランド、ポーランド、スペイン、英国、オーストラリア、UAE、ギリシャ、米国に拠点を持ち、国際的に事業を展開しています。1000人以上の従業員が、地球観測における「真のデータ供給者」となることで地球上の生活を改善するという共通のビジョンに基づき活動しています。

詳細については、<https://www.iceye.com/ja-jp/>をご参照ください。

